

カイキョーリボーンプロジェクト取組方針

～ 2025年秋の実現イメージ ～



【マスタープランの実現に向けた段階的な事業推進】

- 民間投資の分散や過剰な公共投資を避けるため、一気に全てを整備するのではなく、事業環境を見極め効果的なタイミング・エリアを絞り込みで公民の投資を一体化させる
- ビジョンとなるマスタープランは、事業を担う主体やエリアマネジメント主体との密接な連携の下、段階的に更新しながら実現する



当初3年のパイロットプロジェクトはマリパークゾーン以東を中心に検討する計画

唐戸船溜まりの景観整備の方針

エリア全体のゾーニング



船溜まりを構成する3つのゾーン

唐戸ゲートウェイハーバー

雰囲気と主なコンテンツ

関門連絡船発着所周辺をシンボリックな場所へとリニューアル

関門連絡船発着所周辺を北九州・下関旅行を象徴するものへとリニューアル。
船旅のワクワク感を高める。

エリア機能

1. フォトジェニックなランドマーク
2. 乗船待合機能
3. 下関周辺の回遊を促す観光案内機能



ランドマークアート



名物待合所



観光案内所



船溜まりを構成する3つのゾーン

水産漁業レクリエーションゾーン

雰囲気と主なコンテンツ

唐戸市場~カモンワークは飲食中心で地場の味が思いっきり楽しめるエリア

唐戸市場の空気感を受け継ぎつつカモンワークも使ってコンテンツ力をアップ！
ワイワイな雰囲気の下、下関の地場の食が五感で楽しめるエリアに。

エリア機能

1. 唐戸市場を中心としたライブ感のある食物販
2. 山口物産をテーマとした体験型ファクトリー
3. 港町の風情を感じさせるラフな雰囲気のネオ横丁



唐戸市場



体験型ファクトリー



横丁テイストの味のある角打ち



和風BBQ 炉端焼き



船溜まりを構成する3つのゾーン

マリパークゾーン・東

雰囲気と主なコンテンツ

海響館を中心とした親水エリアはファミリーコンテンツ充実のエリアに

海響館まわりのエリアは海響館をメインとしてファミリーコンテンツを拡充。
子どもを中心にファミリーで楽しめるエリアとする。

エリア機能

1. 海響館
2. 海テーマのファミリー向けプレイグラウンド
3. 託児施設



海響館



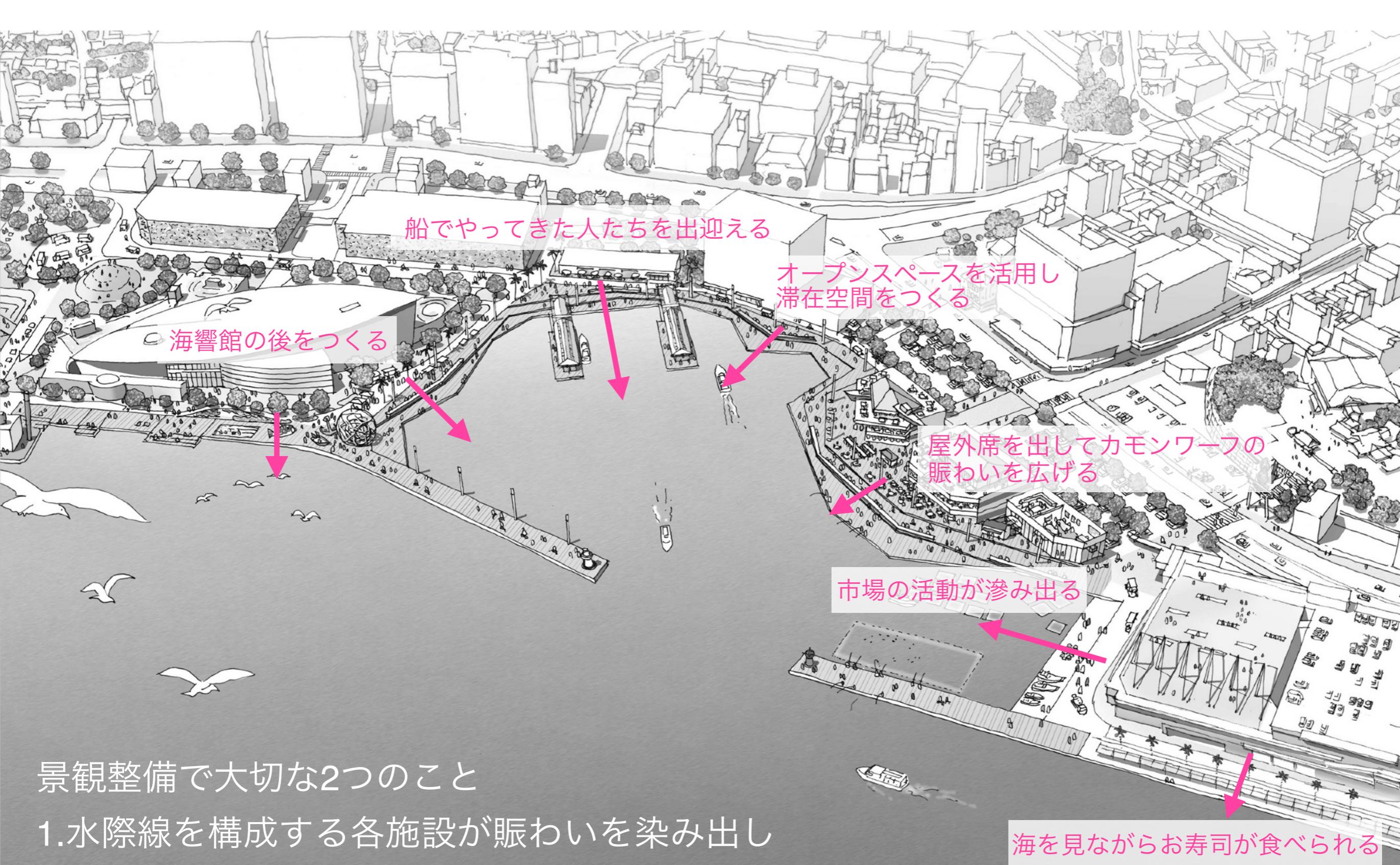
プレイグラウンド/託児施設



親水パーク 冬はスケート







船でやってきた人たちを出迎える

オープンスペースを活用し
滞在空間をつくる

海響館の後をつくる

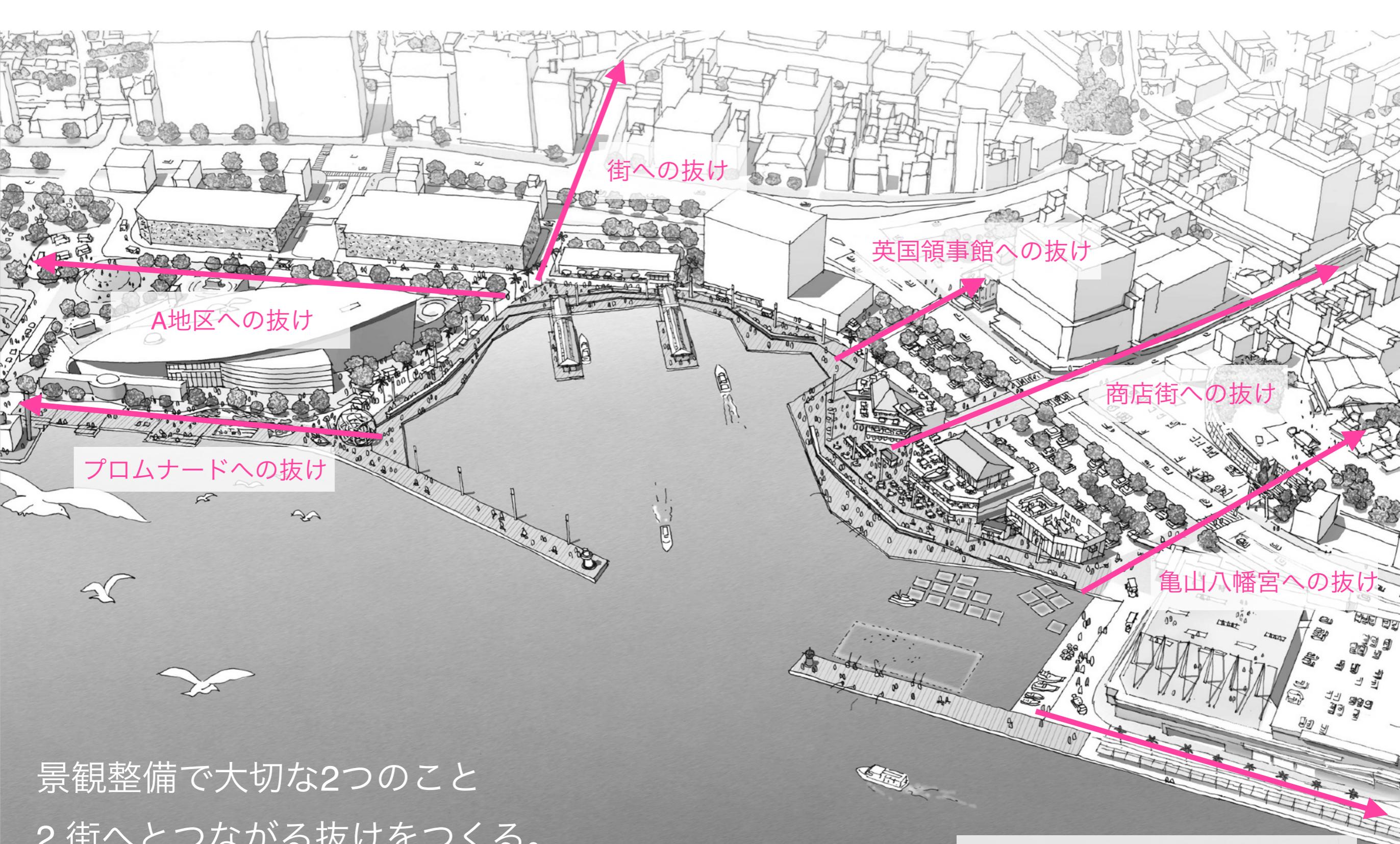
屋外席を出してカモナーフの
賑わいを広げる

市場の活動が滲み出る

海を見ながらお寿司が食べられる

景観整備で大切な2つのこと

1.水際線を構成する各施設が賑わいを染み出し
互いに「見る—見られる」の関係を作り出す。



街への抜け

英国領事館への抜け

商店街への抜け

A地区への抜け

プロムナードへの抜け

亀山八幡宮への抜け

景観整備で大切な2つのこと
2.街へとつながる抜けをつくる。

関門橋・赤間神宮等水際線への抜け

景観整備の方針

聖蹟

みらいぱーくII：駐車場

みらいぱーく：駐車場

A地区緑地とつながり
回遊できる場づくり

観光案内

サロン・
チケット

カフェの地先

海響館のグッズ販売など
ポップアップストア

マリンパークゾーンとして
子供の遊び環境を屋外に

イルカの彫刻

案内板

ベンチ+植栽スペース

ベンチ+植栽スペース

お出迎え

渡船

4020.0046

海響館

出口

佐藤佐太郎歌

くじらさんありが

マリンパークゾーンとして
子供の遊び環境を屋外に

ベンチ

ベンチ

テオ

- ポンプ室 (22m²)
- トイレ (22m²)
- 倉庫 (22m²)
- カフェ (29m²)
- オフィス (35m²)

海響館

搬入口

港湾

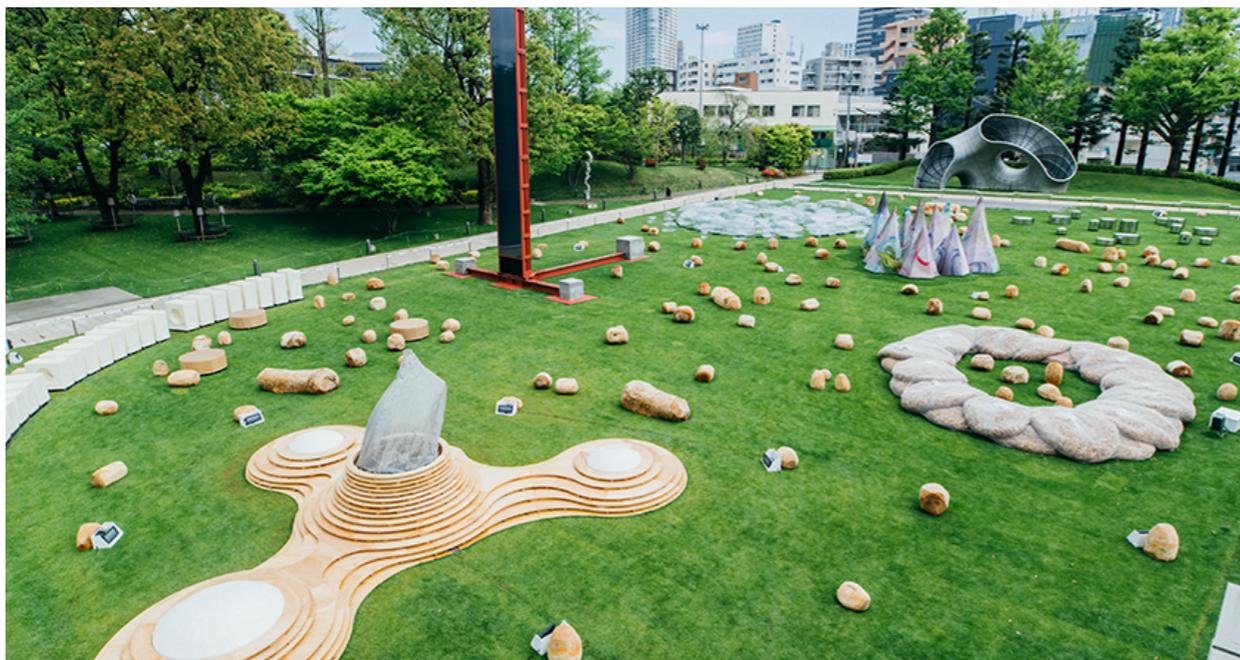
寄贈大理石

寄贈大理石ベンチ群

港湾

海峡大噴水

イメージ



遊具イメージ



グッズショップイメージ



遊具イメージ

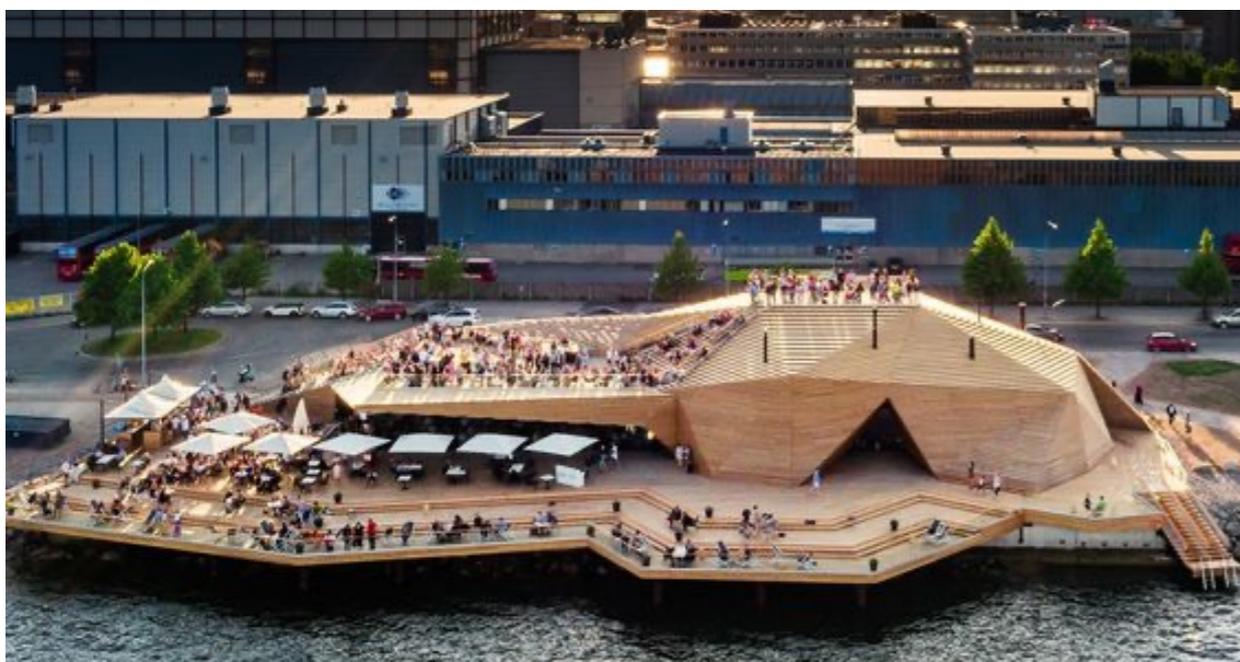


グッズショップイメージ

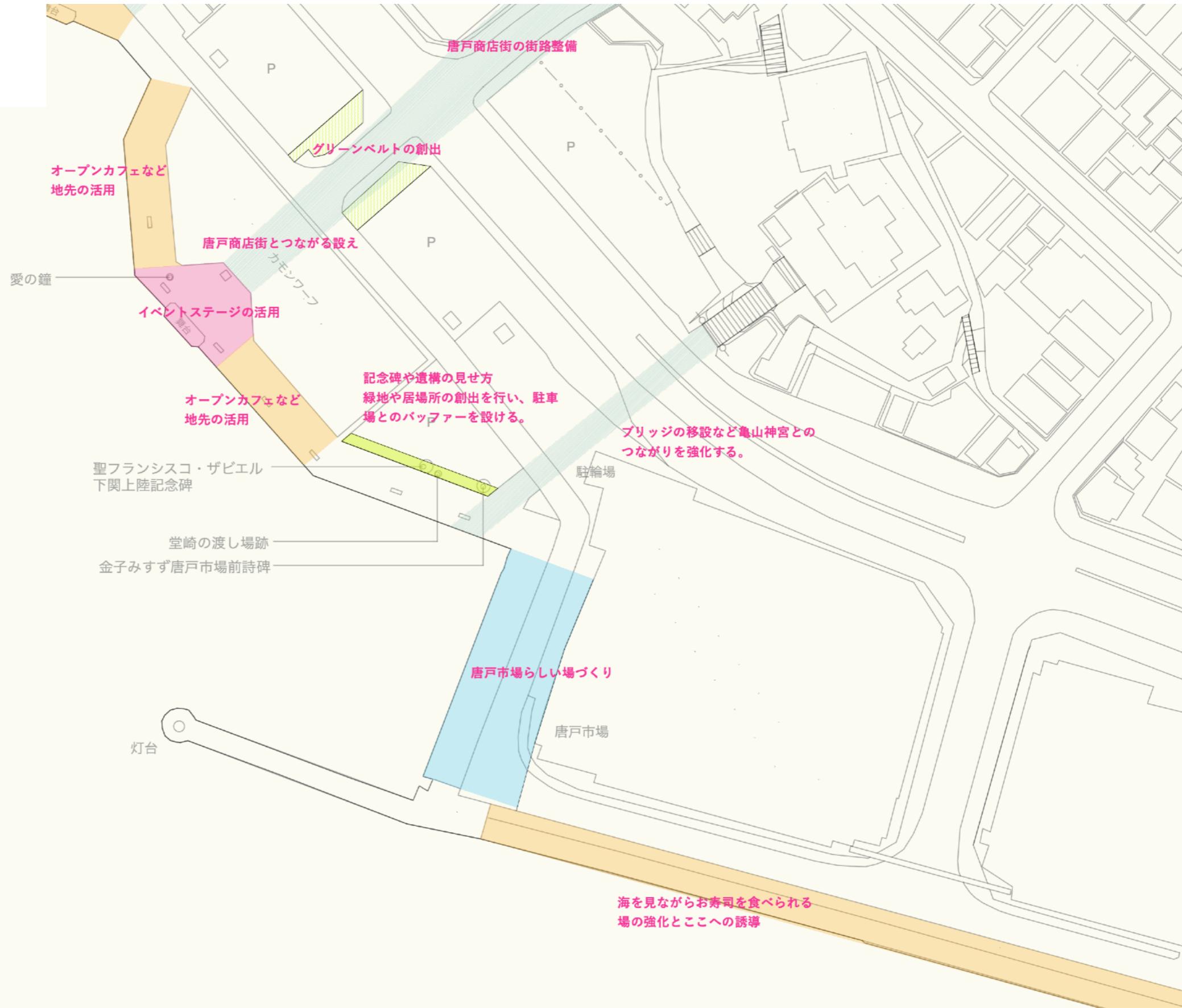
イメージ



渡船棧橋デザインイメージ



景観整備の方針



イメージ



唐戸船溜まり景観整備の方針

ハード整備を先行せず、活用（つかう）を通して整備（つくる）の場所を決めていく。

そのための社会実験を戦略的に行なっていく。

2025年秋 リゾナーレ オープン時のあり方



2023年度 社会実験

夜の水ぎわを楽しむ

あかりの社会実験

3月15日(金)から31日(日)まで ご参加自由

19:00~22:00 / 海響館・親水緑地周辺

現状のふりかえり

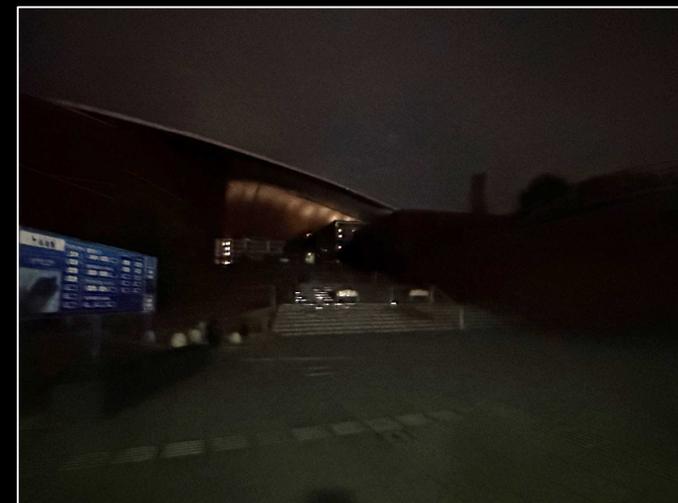


回遊性を高めたいエリアの中央部に暗がり！

港湾緑地

海響館・海側

海響館・エントランス





樹木ライトアップ



光るファニチャー



スポットライト型ハイポール照明



ベンチ間接照明



小壁の間接照明

◆ 港湾緑地の将来像
(推進会議資料より抜粋)



『カイキョー大噴水』



フラット噴水(水深5cm)



◆芝生広場の将来像

(推進会議資料より抜粋)



影絵歩道照明
※水族館モチーフ

階段間接照明



影絵歩道照明



階段間接照明



社会実験の目的

①港湾緑地の夜間利活用の可能性探索

②海峡大噴水の可能性探索

③海響館のランドマークとしての磨き上げと
周辺部の暗がりの払しょく

夜の水ぎわを楽しむ あかりの社会実験

3月15日(金)から31日(日)まで ご参加自由
19:00~22:00 / 海響館・親水緑地周辺

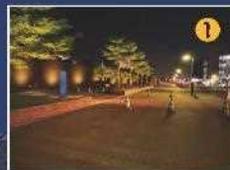
下関市が令和5年2月に策定した「あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン」の実現に向けて取り組んでいる「カイキョー ReBoRN プロジェクト」が実施する社会実験です。日本を代表するウォーターフロントシティを目指して、カイキョーエリアの魅力を最大限に引き出していくために、今後の公共照明整備に期待したいことや、あかりによる賑わいの創出を検証するための実験です。下関市民をはじめ関門エリアが生活圏の皆さまに、普段から海響館周辺の夜の水ぎわを安全安心に楽しんでいただくことで、まちの魅力を高めていくためのあかりを設置します。ぜひこのあかりを体験して、これからのまちづくりのための皆さまの貴重なご意見や、感じたこと、応援メッセージなどをお寄せください！

アンケートは裏面の二次元コードから▶



夜の水ぎわを楽しむ あかりの社会実験

※写真はイメージです



5 3/15(金)・16(土)のみ

3/16の大噴水は16:00~21:00の間に30分間隔でご覧いただけます。※社会実験のため時間変動の可能性があります。

- 1 海響館へ続く遊歩道
暗がりを無くして安心感を高める照明を追加します。
- 2 海響館・正面玄関付近
緑のライトアップなどを追加し建物の魅力を高めます。
- 3 海響館・海側
壁面のライトアップなどを追加し明るさ感を高めます。
- 4 あるかぼーと親水緑地
あかりを灯して夕刻から夜の緑地を楽しんでみます。
- 5 カイキョー大噴水: 3/15(金)・16(土)のみ
親水緑地海側の大噴水とあかりの演出は必見!!

3/15(金)・16(土)の19時~22時は
あるかぼーと親水緑地で
夜を楽しむ2日間!
温かい飲み物を数量限定で
販売する予定です。
暖かくしてぜひお立ち寄りください!



飲み物は予定数に達し次第終了となります。
天候などの理由により中止になる場合があります。



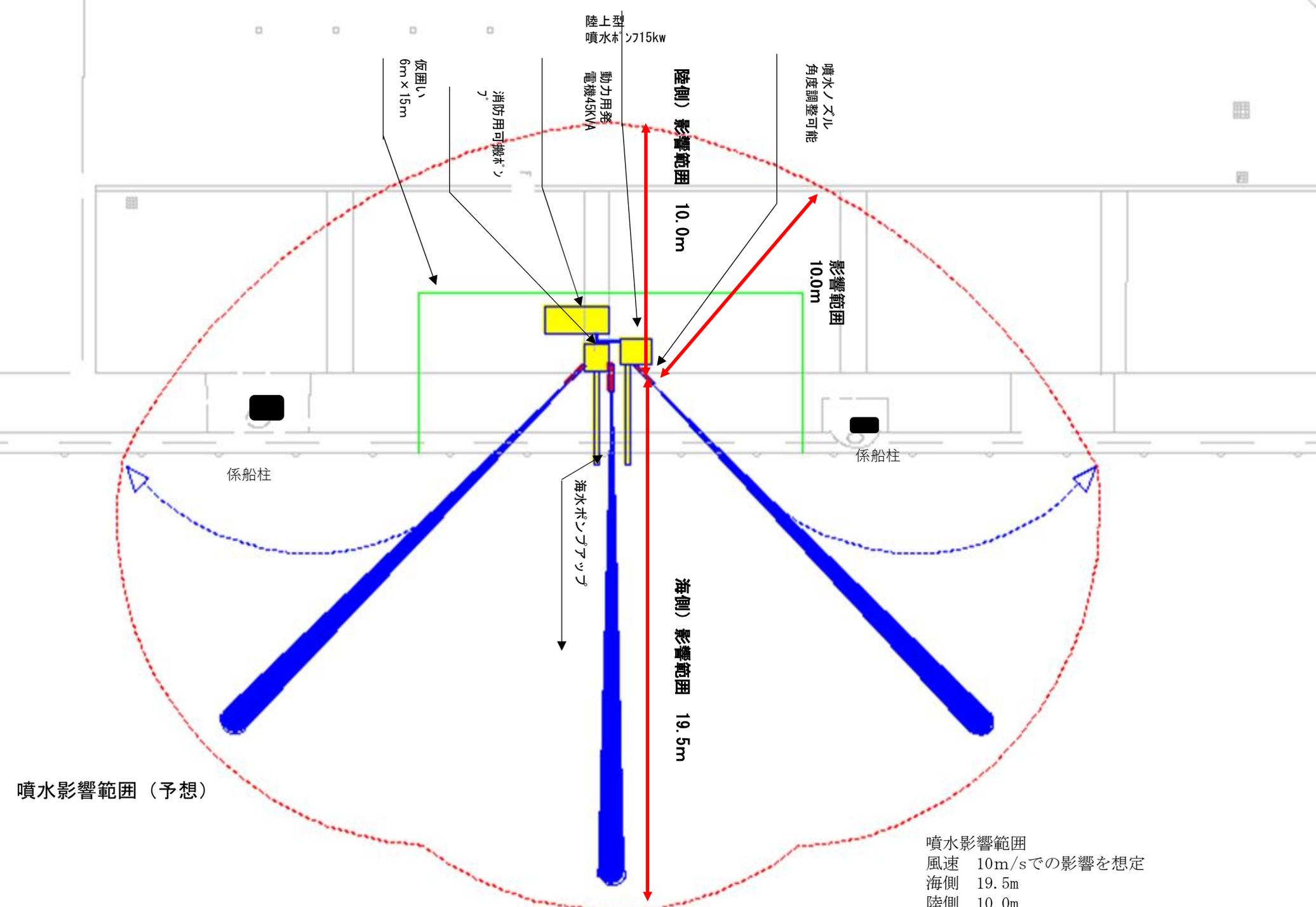
あかりアンケートへのご回答にご協力ください

5つのあかりスポットについて、ご意見・ご感想をぜひお聞かせください。
左の二次元コードを読み込んでご回答をお願いいたします。

お問い合わせ：下関市 総合政策部 エリアビジョン推進室 (083-231-5838)



噴水高さ: 約20m
長さ: 約18m



陸上型
噴水ポンプ15kw

動力用発電機45KVA

噴水のズル
角度調整可能

陸側) 影響範囲 10.0m

影響範囲 10.0m

海側) 影響範囲 19.5m

仮囲い
6m x 15m

消防用可搬ポンプ

係船柱

係船柱

海水ポンプマッパ

噴水影響範囲 (予想)

噴水影響範囲
 風速 10m/sでの影響を想定
 海側 19.5m
 陸側 10.0m

■懸念された影響

- ①通船の航行への影響（噴水・照明の影響範囲） → ○
- ②大型船舶からの導標確認への影響（夜間） → ○
- ③水先人の水先業務への影響（夜間） → ○
- ④周辺事業者（海響館、スターバックス等）への飛沫影響 → ○
- ⑤漁業関係者への影響 → ○

■影響への対策

- ①噴水・・・噴水開始を知らせる音楽等で周知（今後検討）
- ②照明・・・航行の安全が確保される照度、角度、色調 → ○
- ③飛沫・・・噴射中止風速の設定（国内既施設の場合：風速4m）

◆夜景イメージ 海響館 道路側からの鳥瞰

樹木ライトアップ (10本程度)

軒裏アップライト (可能であれば)

手すり間接照明 (全数)

壁面ライトアップ (できれば)

樹木ライトアップ (全数)

低ポール灯

トピアリーのライトアップ (低ポール5本まで、できれば)

マウンドライトアップ
(可能であれば)

令和5年度

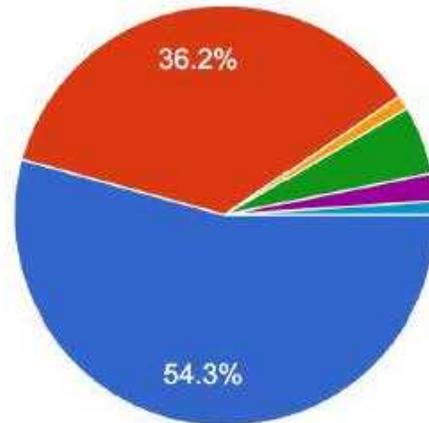
あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン推進に向けた
社会実験 参加者アンケート報告書



あかりの社会実験についてお聞きします

n=94

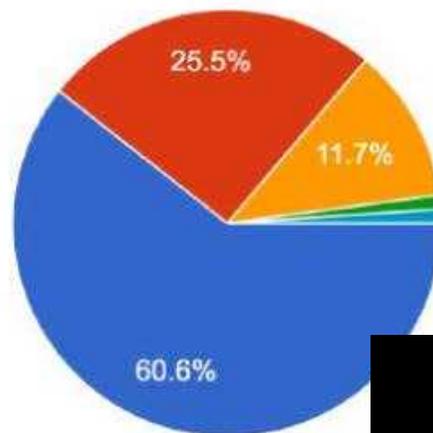
① 普段の夜（ライトアップ等がない状態）と比べてどのように感じましたか？／94 件の回答



- 1. とても魅力的
- 2. やや魅力的
- 3. 特に何も感じない
- 4. 特に魅力を感じない
- 5. 全く魅力を感じない
- 5

「魅力的」90.5%

② 普段の夜（ライトアップ等がない状態）と比べてどのように感じましたか／94 件の回答

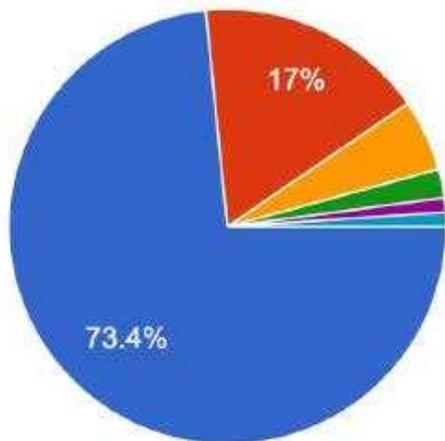


- 57 (60.6%) ● 1. 安全・安心
- 24 (25.5%) ● 2. やや安全・安心
- 3 (11.7%) ● 3. 特に何も感じない
- 2 (2.1%) ● 4. やや不安・危険
- 1 (1.1%) ● 5. 不安・危険
- 1 (1.1%) ● 5

「安全・安心」86.1%

n=94

③あかり（ライトアップ）はあった方がよいですか？／94 件の回答

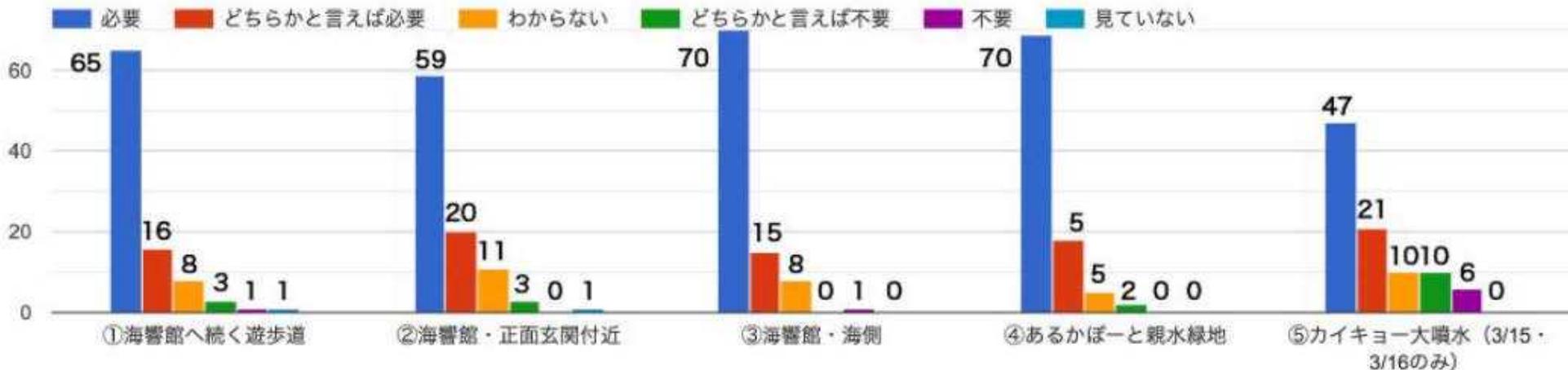


- 69 (73.4%) ● とても必要だと思う
- 16 (17%) ● やや必要
- 5 (5.3%) ● どちらでもよい
- 1 (1.1%) ● やや必要ない
- 1 (1.1%) ● 全く必要ない

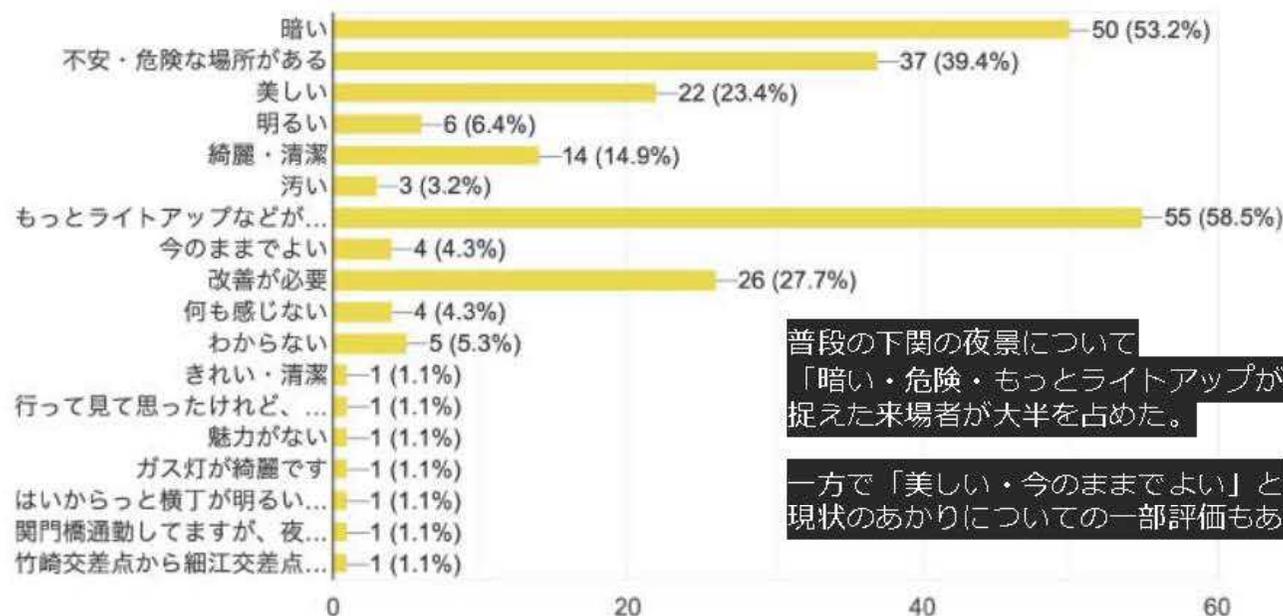
「ライトアップはあったほうが良い」
90.4%

④社会実験それぞれのあかりの必要性について、どのように感じますか？／94 件の回答

「それぞれのあかりが必要」と捉えた来場者が大半を占めたが、カイキョー大噴水については若干意見が分かれている。



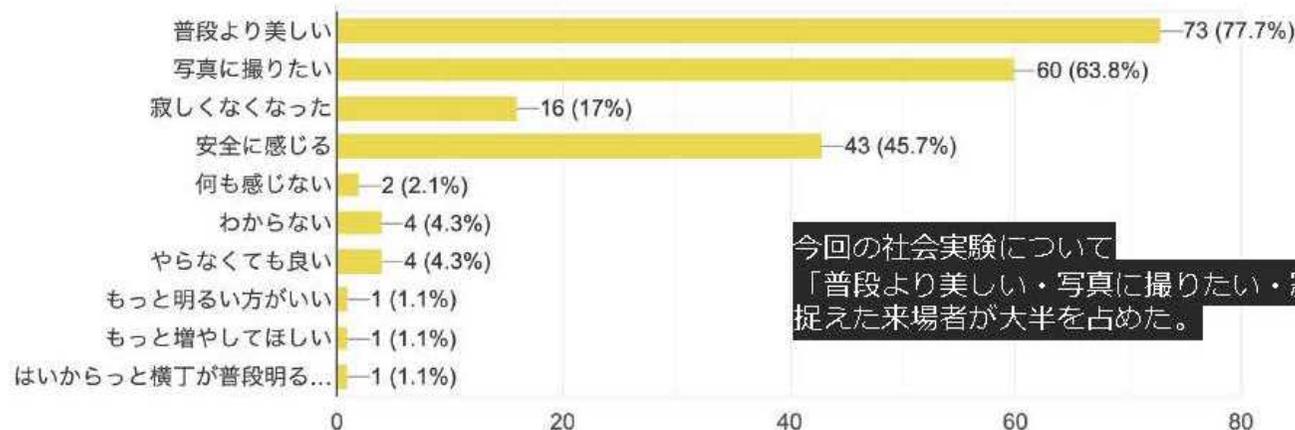
⑤ 普段の下関の夜景（夜のあかり）についてご意見にチェックを入れてください（複数回答可）



普段の下関の夜景について「暗い・危険・もっとライトアップがほしい・改善が必要」と捉えた来場者が大半を占めた。

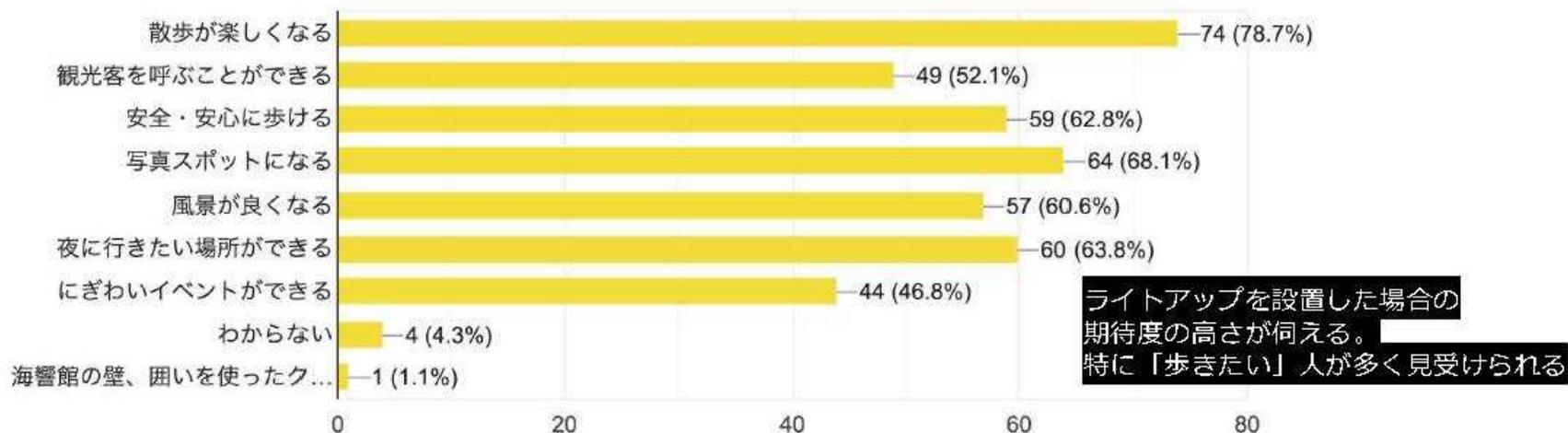
一方で「美しい・今のままでよい」と現状のあかりについての一部評価もあった。

⑥ 「あかりの社会実験」全般に関して当てはまる感想にチェックを入れてください（複数回答可）



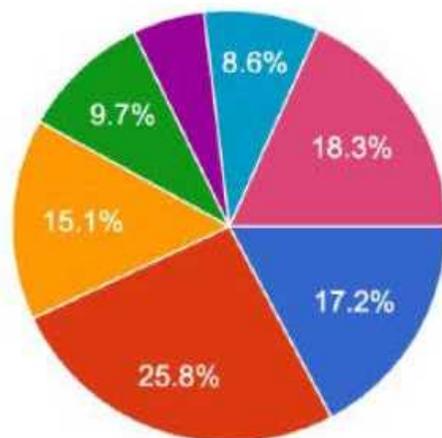
今回の社会実験について「普段より美しい・写真に撮りたい・寂しくない・安全」と捉えた来場者が大半を占めた。

⑦ライトアップで期待できる効果について、どのように思いますか？（複数回答可）



ご回答者様についてお聞かせください

①どなたと一緒にご来場されましたか？ / 93 件の回答



- 16 (17.2%) ● おひとりでした
- 24 (25.8%) ● ご夫婦でした
- 14 (15.1%) ● 友人と来た
- 9 (9.7%) ● 恋人と来た
- 5 (5.4%) ● 仕事関係の方と来た
- 8 (8.6%) ● 知り合いと来た
- 17 (18.3%) ● その他

誰かと一緒に来場した人が82.8%を占めた。

⑧ご自由にご感想、お気づき、ご要望をはじめ、応援メッセージなどをお聞かせください！／57 件の回答

1	とても綺麗で人も集まるので暗くて危険な場所も減ると思いました
2	素敵な時間を過ごせました
3	すごく綺麗でした！ライトアップがあると、より綺麗に景色が見えるし、凄くよかったです！また友達と訪れたいとすごく思いました！！
4	あかりがあることでいつもと違う感じを味わえることが出来ました！ぜひ頻繁に行って欲しいです！
5	普段との差が分かりにくい写真に撮りたくなるような、もっとオシャレにライトアップして欲しい
6	明かりがあるだけでこだけ変わるとは思ってもなかったです
7	本日の海側の照明は良かったが、国道側トイレや噴水前も明るくしたほうが、海響館周囲全体が明るくなり、通常と違った感じがして良いと思う。また、放水について、下関側から見るのであれば、今の高さでもよいが、北九州へのアピールならばゴンドラの高さ程度は上げてほしい。また、放水箇所を複数（後4から5箇所程度）にしてほしい。
8	大噴水は迫力があつたが、発電機などの機械があり見にくかった。あかりだけでなく、噴水ショーのように音楽やプロジェクトクシオンマッピングも合わせて行うといいと思いました。地元向けイベントチラシだから仕方ないが、アクセスについても記載して欲しかった。初めての下関観光で、初イベントに参加出来て良かったです。
9	やはり、あかりはもうすこし必要だと思ったのでご検討よろしくお願いします。
10	明るさは安全性のために必要だと思います。ただ、魚にとってどうか？学生が遅くまで遊んでしまうのでは？などは考慮が必要かと思います。

11	風が気になる
12	綺麗にライトアップしてください！！
13	綺麗で写真映すると思います！
14	偶然居合わせたスタッフさん、親切色々、教えてくれありがたきです 唐戸明るくなるのに期待大
15	お金がかかるかもですが、雰囲気はお金以上のものと思います。頑張ってください
16	とても良いと思う。いつも行かないのに今日は自然に回って歩いた。ランタンもよかった。下関を良くするために頑張っ て欲しい😊
17	もっと灯りの数や場所を増やしてほしい。 飲み物もコーヒーだけでなくお酒も欲しい。 DJなどを呼んで光だけでなく音も入れて欲しい。
18	新しいことにチャレンジすることは素晴らしいと思います。 明かりも、明る過ぎず、暗過ぎず、良かったと思います。 噴水周りのバリケードは工事用をそのままつかうのではなく、装飾したほうが、写真映えすると思います。今後お客様を呼 び込むのであれば、雰囲気を崩さない程度の飲食店が必要と思いました。 アンケート担当の職員が好印象でした。
19	もっと明るくして市を盛り上げてください！
20	長門市のうたあかりを見てきました。子どもたちと一緒に訪れるきっかけになる仕掛けがあると下関も輝くと思います。プ ロジェクションマッピング、灯籠など
21	素敵です！

2024年度の社会実験の全体像

社会実験の概要

水際線の利活用 社会実験の目的

- ・ 圧倒的な水際線の利活用
- ・ 水際線の滞留空間の創出・魅力的な滞在時間の創出
- ・ エリアの核となる場所でのプログラム実施（各エリアの将来像の検証）
- ・ エリアをつなぐ間の部分での環境改善（エリア間の回遊性の検証）
- ・ 地先事業者との連携・設置物の運営管理検証

① 唐戸船溜りの地先利活用

海響前からカモンワークまでの水際線の魅力・体験をつなげる。

a.海響館周辺

「海響館の賑わいを外部と繋げる場づくり」

- ・ モバイル遊具設置
- ・ 関門海峡を背景にしたフォトスポット設置
- ・ 釣り体験イベント

b.連絡船乗り場及び周辺

「下関のウォーターフロントの玄関」

- ・ シンボルの設置
- ・ インフォメーション設置
- ・ フォトスポット設置
- ・ パレットベンチの設置

エリア間

滞留空間

c.カモンワーク前

「船溜まりで飲食できるオープンスペースの創出」

- ・ 水際席としてイス・机の設置
- ・ オーダーシステム導入
- ・ エリア紹介サイン設置

エリア間

滞留空間

d.唐戸市場

「唐戸文化市場」

- ・ 浜焼BBQサービス提供
- ・ パレットベンチ設置
- ・ 水際線エリア紹介サイン設置

② あるかぼーと岸壁の利活用

「ウォーターフロントプロムナードとしてふさわしい海峡と向き合う滞留空間の創出」

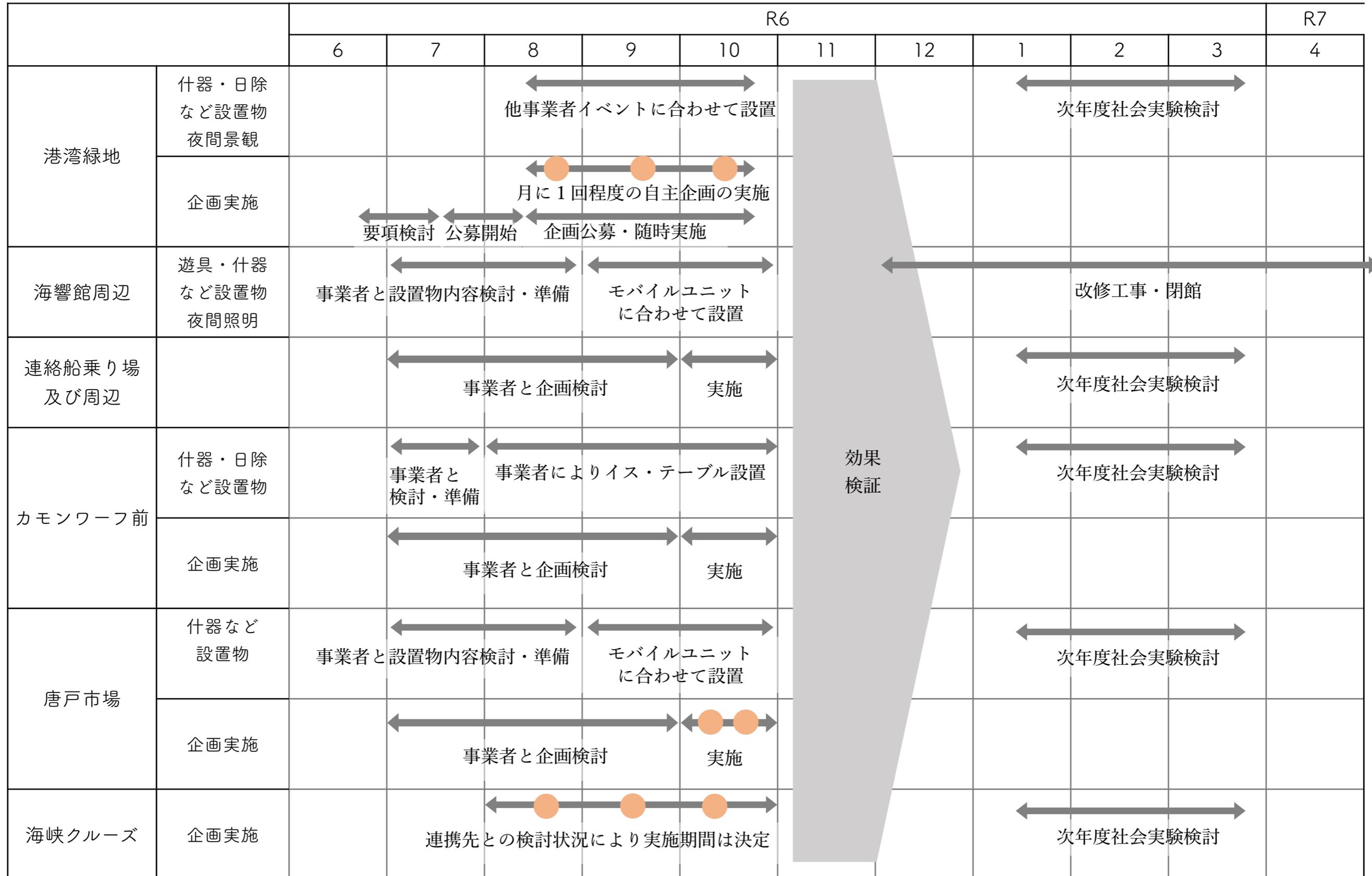
- ・ 岸壁ユニットの設置と利活用実証
- ・ 管理運営の検証

③ 港湾緑地の利活用

「市民と来訪者が関門時間を愉しむ広場」

- ・ 遊びを誘発していくプレイパークの実施
- ・ キッチンカーによる飲食提供
- ・ 市内事業者によるイベント開催
(朝夕 ヨガ・朝食・音楽演奏・ナイトマーケット・オクトーバーフェスト等)

2024年度の社会実験実施スケジュール案



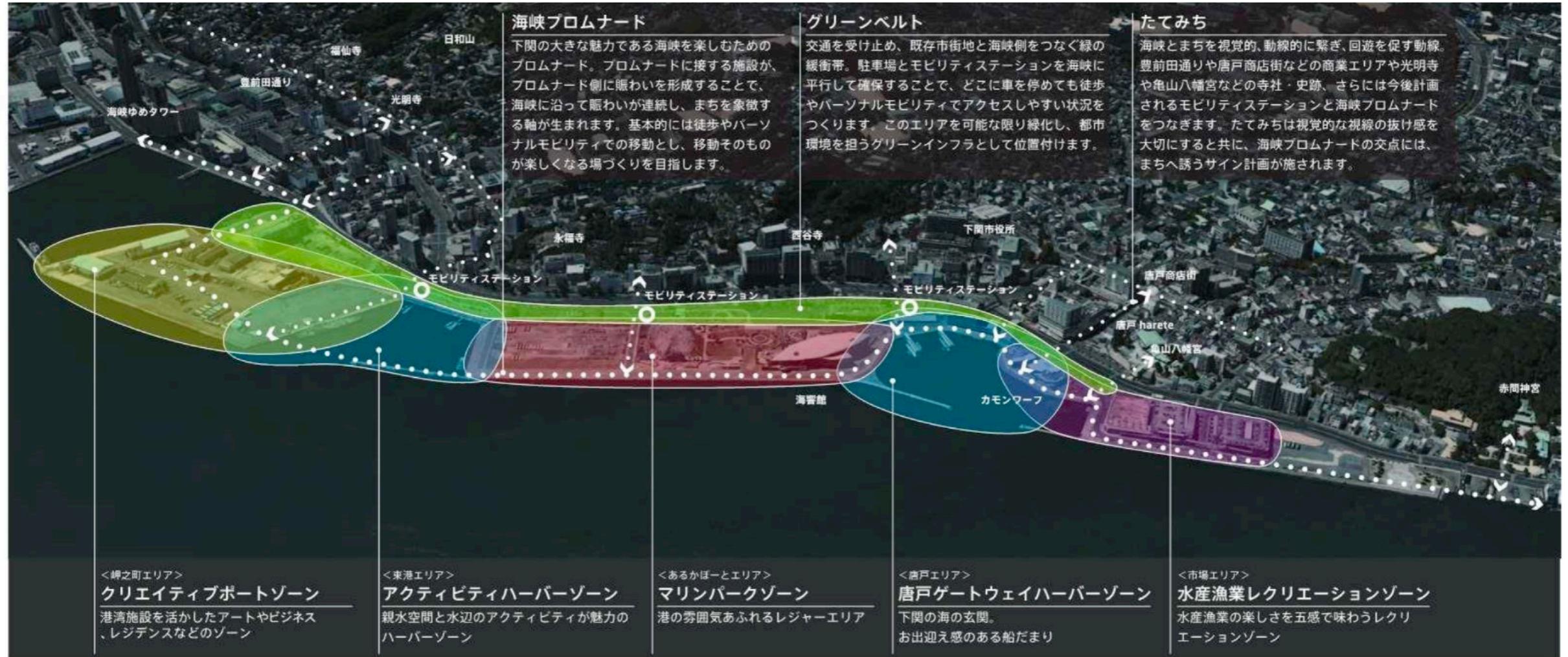
あるかぼーと岸壁の景観整備の方針



3つの役割

下関の回遊を担うウォーターフロントプロムナード
海峡を楽しむマリンパークゾーン
クルーザー船を出迎える港

下関の回遊を担うウォーターフロントプロムナード



⁵人やものを空間的に移動させる機能

⁶散歩道、遊歩道

⁷案内看板や標識等を指し、情報の伝達や動線誘導を促すもの

海峡を楽しむマリナーパークゾーン



クルーザー船を出迎える港



2023

1	4月24日(月)	8:45	4月24日(月)	20:15	あるかぼーと	スターブリーズ	ウインドスタークルーズ (アメリカ)	○	12,995	159	312	190	バハマ
2	4月28日(金)	8:30	4月28日(金)	24:00	あるかぼーと	スターブリーズ	ウインドスタークルーズ (アメリカ)		12,995	159	312	190	バハマ
3	6月11日(日)	9:00	6月11日(日)	18:00	あるかぼーと	ヘリテージアドベンチャラー	ヘリテージエクスペディションズ (ニュージーランド)	○	8,378	124	140	90	ポルトガル
4	7月5日(水)	12:30	7月5日(水)	19:00	あるかぼーと	にっぽん丸	商船三井客船 (日本)		22,472	167	524	230	日本
5	8月22日(火)	10:00	8月22日(火)	21:15	あるかぼーと	にっぽん丸	商船三井客船 (日本)		22,472	167	524	230	日本

2024

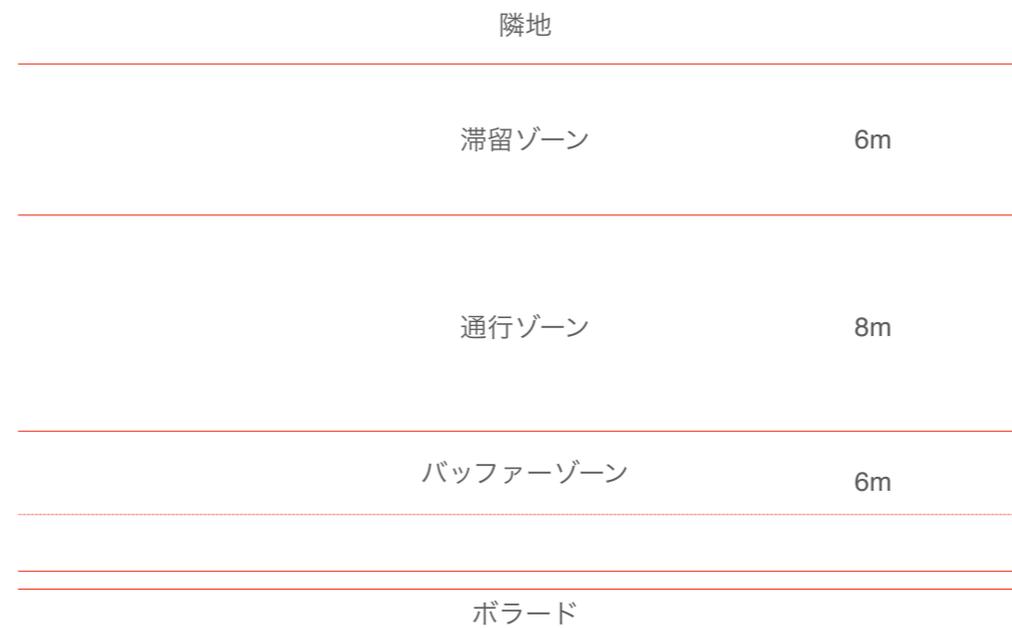
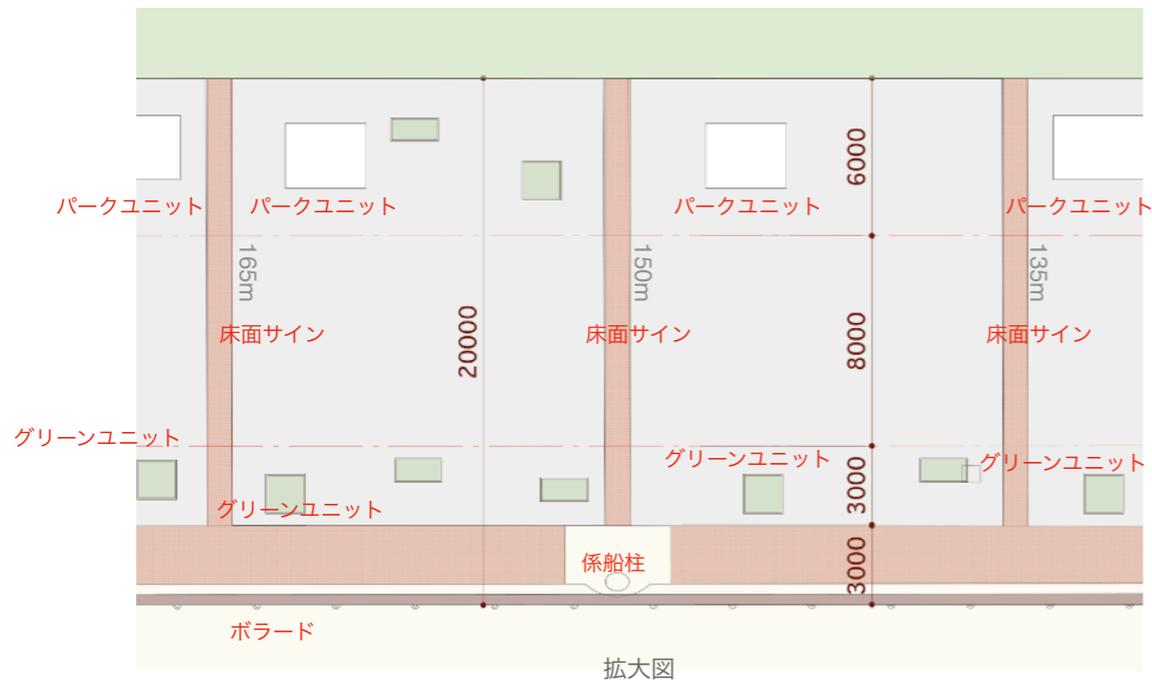
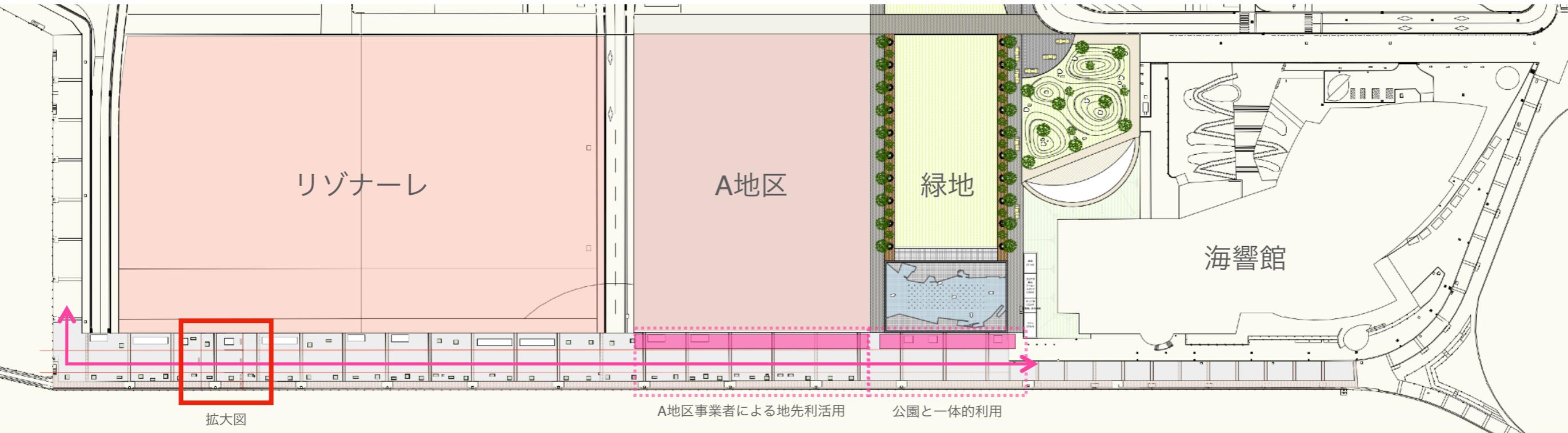
6	4月17日(水)	9:30	4月17日(水)	18:15	あるかぼーと	ル・ソリアル	ポナン (仏国)	○	10,992	142	264	139	フランス
7	5月5日(日)	9:30	5月5日(日)	22:00	あるかぼーと	ヘリテージアドベンチャラー	ヘリテージエクスペディションズ (ニュージーランド)		8,378	124	140	90	ポルトガル







可動ユニットによる護岸整備

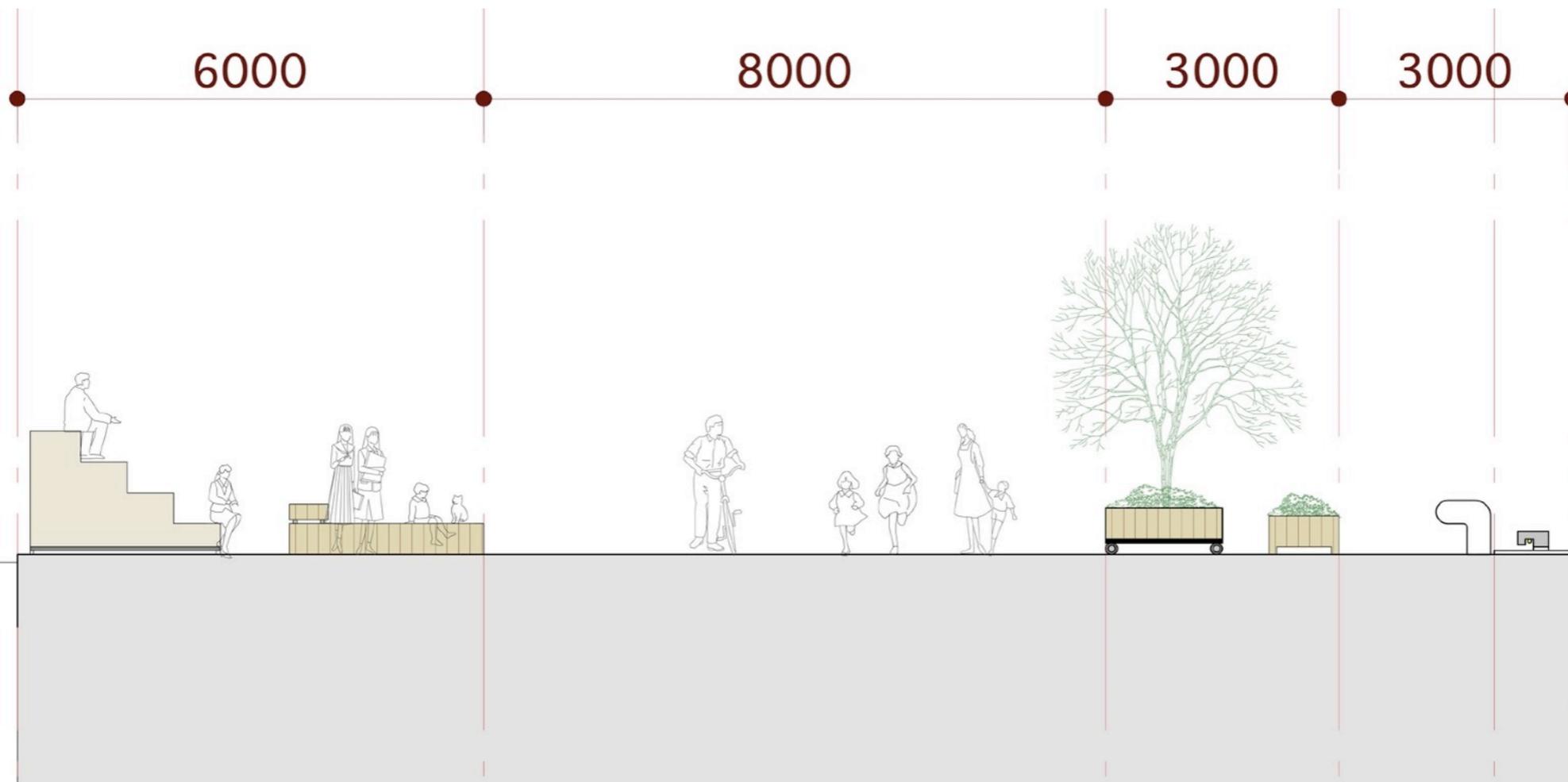


断面でゾーンを分ける

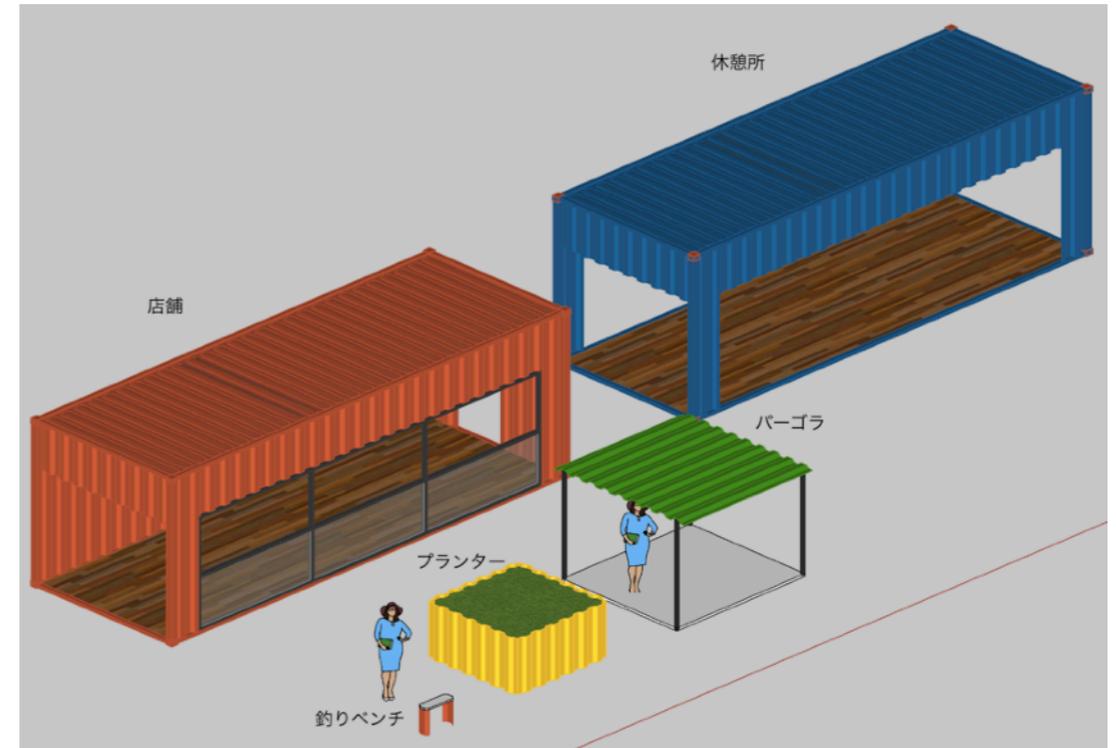
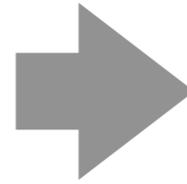
ベンチやアクティビティで
構成される滞留ゾーン

移動を楽しむ通行ゾーン

海と通行ゾーンを仕切る
バッファゾーン



コンテナを活用した可動式のユニット

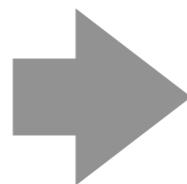


- ・企業協賛を募る。ロゴなどをいれたコンテナユニットの制作。
- ・一度に作らず、少しずつ増やす。
- ・海上輸送コンテナだけでなく、さまざまなコンテナを活用。

パレットを活用した可動式のユニット



- ・ 耐久性は低いが安価
- ・ ハンドフォークなどでレイアウトが容易
- ・ 他の社会実験への貸出



車両を活用した可動式のユニット



- ・既存のキッチンカーやトレーラーハウスを活用
- ・場所を占有する形でキッチンカー等を誘致する



護岸設置イメージ



護岸を構成する4種類のユニット



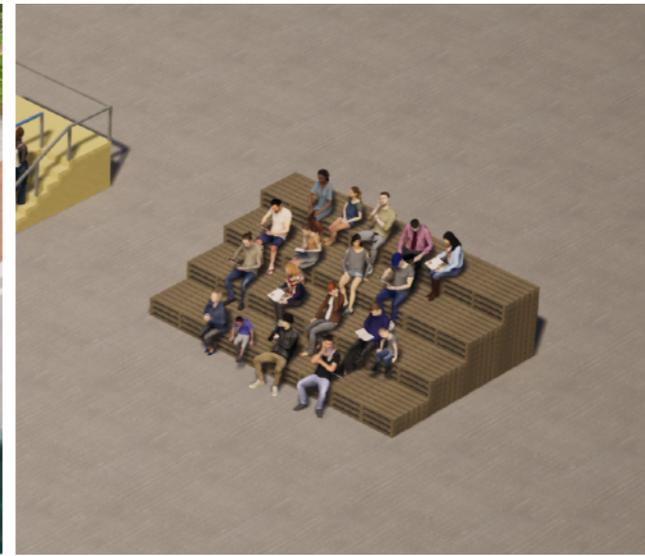
マリパークユニット

卓球や遊具、ハンモックなど公園のようなアクティビティが搭載されたユニット。



グリーンユニット

植物が植えられた移動式プランター。芝生のラグやベンチが併設されたものなど様々なデザインを計画。



滞留ユニット

海峡と向き合うためのベンチやテーブル。



店舗ユニット

キッチンカーや屋台などこの場所で商売をすることができるユニット

ユニット・移動方法



s size

ハンドフォーク
フォークリフト



M size

牽引・タイヤ付き



L size

自走



XI size

置き型 (パークレット)

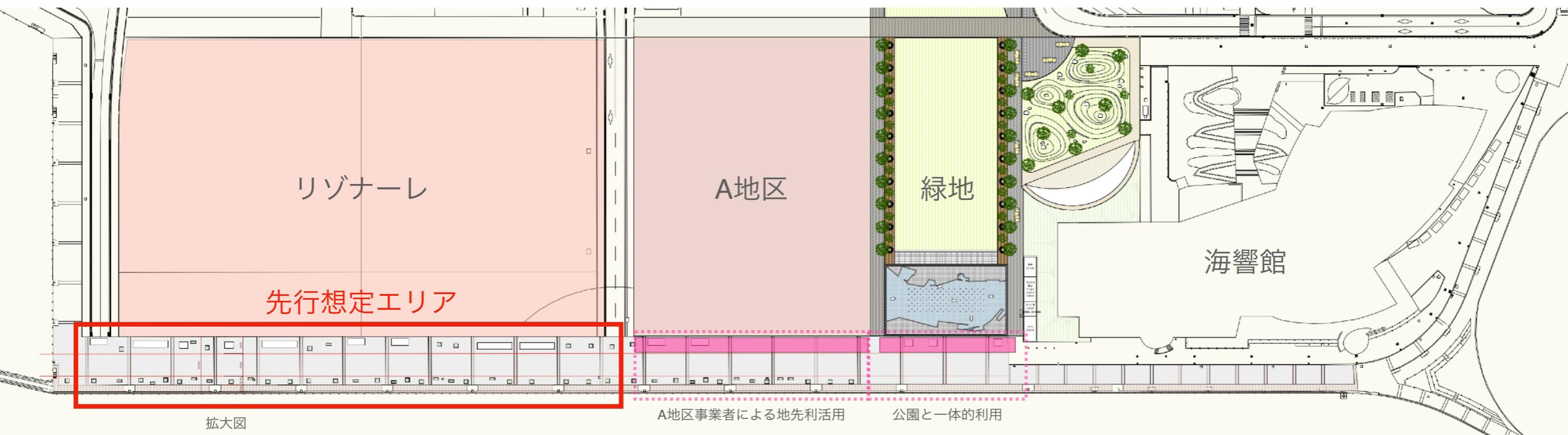
事例（イメージ）



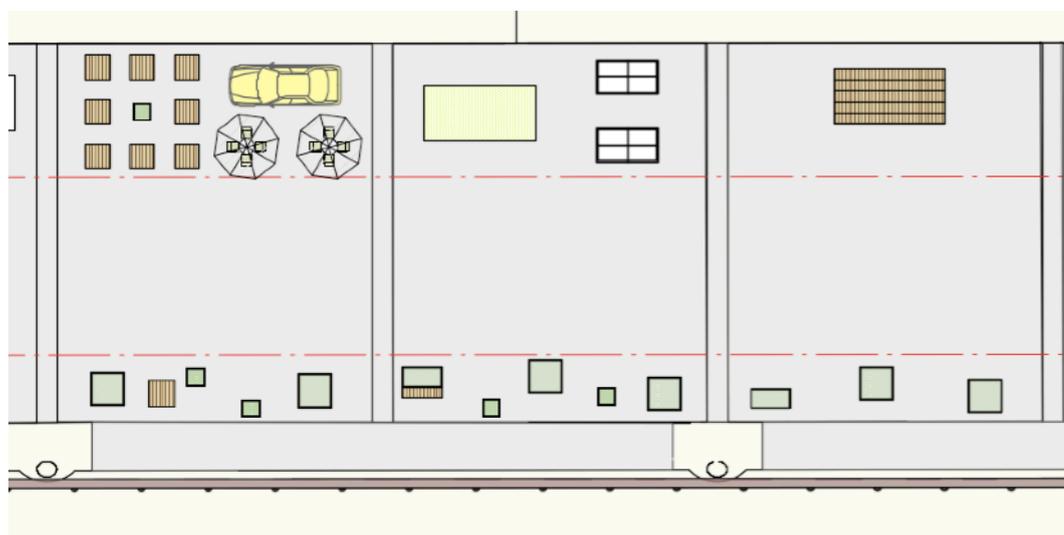
事例 (イメージ)



進め方



想定配置イメージ



3ブロックあたりの想定個数 28ユニット

まずは28ユニット分の設計を進め、来年度実証実験を目指します。2024年度は、岸壁の利活用に向けた制度上の課題・運用上の課題を整理するとともに、ユニットの使い勝手や運用可能性を検証するため、（簡素な）プロトタイプユニットを用いて、唐戸船溜まりの社会実験の中で仮運用します。



あるかぽーと岸壁 景観整備の方針

岸壁で出来ることの可能性を広げるため
モバイルユニットを一部制作し実証実験を行う。

② あるかぼーと岸壁の利活用

目指す将来像のイメージ

ハード

2026年実装を目指し可動式ユニットによる場づくり
段階的に拡張させていく。

ソフト

公民が連携（民間サイドはエリアマネジメント組織を中心に）
マリンパークゾーンとしての活用を目指す。例えば期間限定の
ショップなどの事業も行われ、人々の目的地となっている。

エリアのコンセプト

ウォーターフロントプロムナードとして
ふさわしい海峡と向き合う滞留空間の創出

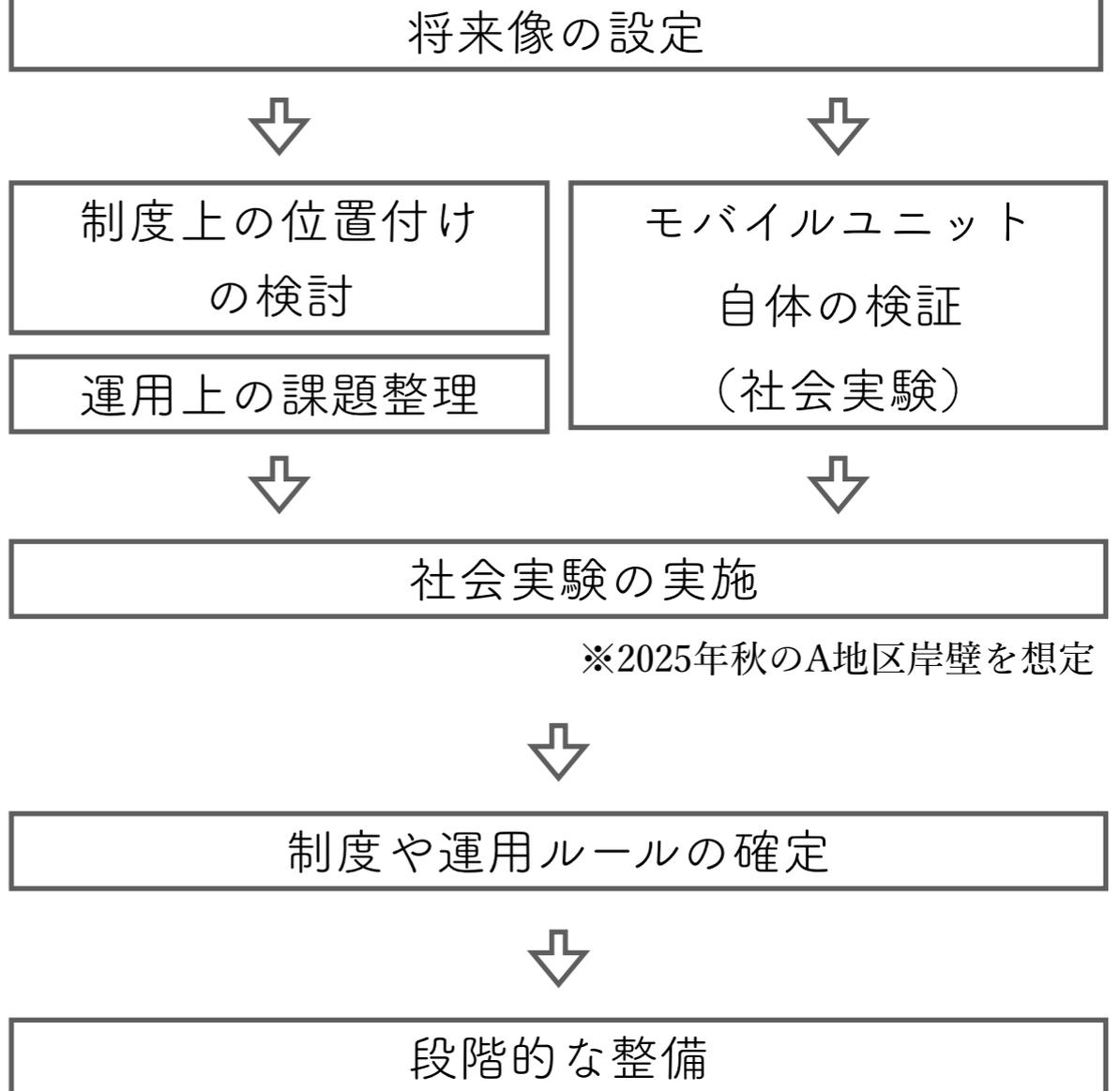
実現に向けた課題

- ・岸壁での長期留置や飲食提供等が認められない
（特例承認or港湾計画上の位置づけの変更が必要）
- ・設置物のイメージ具体化
- ・クルーズ船来訪時や荒天時の運用ルールの明確化
- ・運用主体の検討

検証項目

- ・クルーズ船乗り入れ時や荒天時の対応、植栽の日常管理、
出店者調整などの運用の全体整理と役割分担のマッピング
- ・民間分担部分に関して、制度上、許容できる実績づくり
- ・可動式ユニットのプロトタイプによるデザインや運用の検証

実現に向けたステップ



② あるかぼーと岸壁の利活用

将来イメージ



① 唐戸船溜りの地先利活用 a. 海響館周辺

目指す将来像のイメージ

ハード

海響館の敷地内外構部分を公園化し、子どもたちの遊び場がA地区緑地と連続する形で作られる。

(2025年秋以降、海響館の外構計画が行われる。)

ソフト

海響館の魅力が体感できる仕掛けや遊具をエリマネ組織と海響館が協力して運用する。

海響館利用者の満足度向上にも結び付けることで海響館とエリアの相乗効果が生まれる。

エリアのコンセプト

海響館の賑わいを外部と繋げる場づくり

実現に向けた課題

- ・ 必要な運用内容の整理
- ・ 施設を出た後に楽しい雰囲気周辺に乏しい
- ・ 海峡エリア来訪者に対する学びのコンテンツの充実
- ・ モバイル遊具の出し入れと安全性確保できる設置場所検討
- ・ 1階 飲食事業者の在り方（地先活用や事業の魅力化）

検証項目

- ・ 周辺環境整備による海響館への相乗効果
- ・ 遊具の安全性・防犯性と利用者の安全確保
- ・ 海響館敷地と周辺公共空間の一帯的活用を制度上どう実現できるか

実現に向けたステップ

将来像の設定

事業者の意向調査



地先活用の詳細検討



社会実験の実施

海響館外構計画の検討を進める2025年秋までに
目指すシーンを一時的に実現する



効果検証

運用検証



整備内容の検討

運営スキームの検討



事業化

① 唐戸船溜りの地先利活用 a. 海響館周辺

将来イメージ



① 唐戸船溜りの地先利活用 a. 海響館周辺

実施日程

海響館休館前（11月末まで）

実施内容

- ・モバイル遊具設置
- ・関門海峡を背景にしたフォトスポット設置
- ・釣り体験イベント（海洋生物と食文化の学び）



検証方法

- ・設置期間の利用状況調査
- ・利用者へのアンケート
- ・海響館スタッフへのアンケート
- ・常設を見据えた設置・運用方法の検証

設置物

- ・モバイル遊具
- ・フォトスポット製作予定

運用のイメージ

- ・設置場所は海響館出口周辺を予定。
- ・社会実験においてはKAMが設置・管理。
（原則として地先事業者が管理運営し、公共性が高いなど例外的な場合はKAMで設置を検討するなど今後協議）
- ・モバイル遊具は常設を念頭に運用。

[想定している運用方法]

- ・設置面が硬い仕上材の場合は人工芝を敷設。
- ・強風警報が出た場合はまとめてロープで縛り固定する。
- ・保護者同伴での遊具使用を前提とし、什器による怪我などに対応する保険をKAMで加入。
- ・パレットベンチを設置。
- ・釣り体験イベントは企業協力で運用。

運用の役割分担

- ・設置物の管理：KAM
- ・企画・運営協力：KAM+HBP

① 唐戸船溜りの地先利活用 b. 連絡船乗り場 及び 周辺

目指す将来像のイメージ

ハード

船でやってくる人たちに向けたお出迎え施設が作られている。
連絡船前の周辺が新しくなり、新しい下関の顔になる。海峡エリアを訪れた人の結節点として機能している。

ソフト

観光案内などここから下関全域へ人々を案内できる場所と人ができている。

海峡関門エリアのコンシェルジュ機能。

エリア全体の動線として回遊性にも寄与。

エリアのコンセプト

下関ウォーターフロントの玄関

実現に向けた課題

- ・地先事業者とのビジョン共有
- ・地先事業者の事業計画への反映

○モニュメント

- ・モニュメントの設置可能性

○利活用

- ・埠頭用地の占用可能性

○エリアの回遊性

- ・空間としてのワクワク感が薄い
- ・海峡エリア来訪者に目的地として認知されていない

検証項目

○モニュメント

- ・モニュメントの必要性
- ・写真撮影やSNS投稿など行動変容

○利活用

- ・利活用による回遊促進効果や動線との共存の検証

実現に向けたステップ

将来像の設定



地先事業者とのビジョン共有・意向調査



社会実験の実施



効果検証



結節点としての機能検討

地先活用の詳細検討



ハード・ソフトの連動可能性を模索

① 唐戸船溜りの地先利活用 b. 連絡船乗り場 及び 周辺

将来イメージ

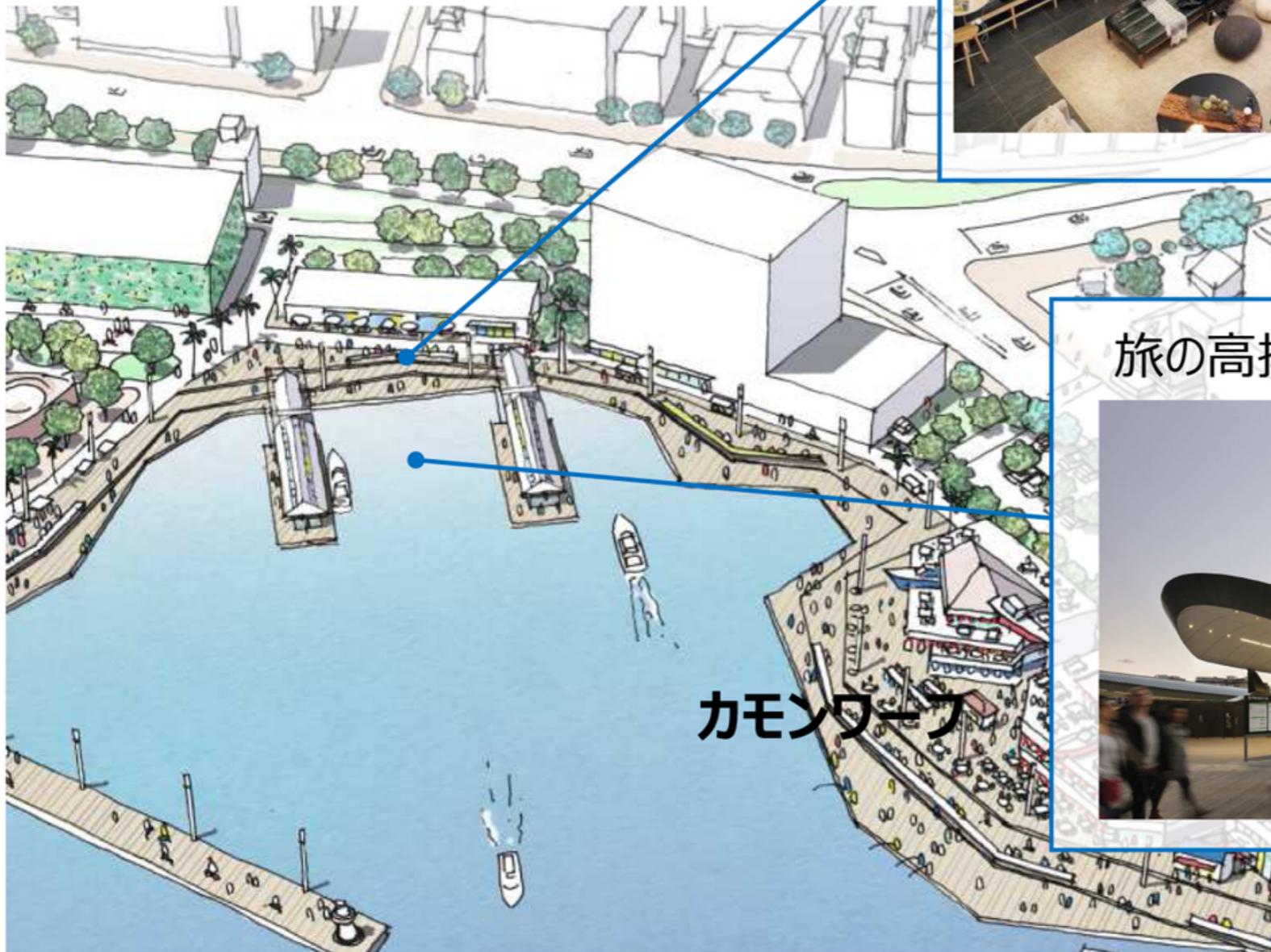
周遊観光のハブとなる船着き場、観光案内所、カフェ。



旅の高揚感を高める船着き場、アートオブジェ。



カモンワーフ



① 唐戸船溜りの地先利活用 b. 連絡船乗り場 及び 周辺

実施日程

8月・9月・10月

実施内容

- ・シンボルの設置
- ・パレットベンチの設置（グランドホテル地先）
- ・インフォメーション設置（渡船乗降口付近）
- ・フォトスポット設置



検証方法

- ・設置期間内外の利用状況調査
- ・利用者へのアンケート

設置物

- ・シンボル
- ・パレットベンチ
- ・インフォメーション製作予定

運用のイメージ

- ・シンボルの設置は場所も含めて要協議
- ・グランドホテル地先のパレットベンチを設置。
（原則として地先事業者が管理運営し、公共性が高いなど例外的な場合はKAMで設置を検討するなど今後協議）
- ・インフォメーション設置はKAMで製作。期間中は常設。
- ・什器による怪我などに対応する保険をKAMで加入。

運用の役割分担

- ・設置物の管理：KAM
- ・地先管理・運営：地先事業者（不在の中間エリアはKAM）
- ・企画・運営協力：KAM+HBP
- ・運用ルール調整：HBP

① 唐戸船溜りの地先利活用 c. カモンワーク前

目指す将来像のイメージ

ハード

カモンワーク前のデッキ部分が客席として利用されカモンワークの一部として活用できるようになる。そこでの注文なども可能となる。

ソフト

事業者によって、海際のエリアが活用されており、特別な体験のできる場所となっている。

エリアのコンセプト

船溜まりで飲食をすることができるオープンスペースの創出

実現に向けた課題

- ・将来的な占用&活用の可能性
- ・テナント事業者・カモンワーク運営者双方にとっての事業性
- ・設置片付けの運用と保管倉庫
- ・水際線の魅力を価値化できていない

検証項目

- ・水際席の利用状況と事業性
- ・事業者による運用
- ・安全性と防犯性

実現に向けたステップ

将来像の設定

事業者の意向調査



地先活用の詳細検討



社会実験の実施

テナントによる水際線の利活用



効果検証

運用検証



オープンスペース利用事業化の方法検討



単価増・アイドルタイム解消など
売上への効果が出る企画づくり



カモンワーク全体での魅力向上

① 唐戸船溜りの地先利活用 c. カモンワーク前

将来イメージ



① 唐戸船溜りの地先利活用 c. カモンワーク前

実施日程

8月・9月・10月

実施内容

- ・水際席としてイス・テーブルの設置
- ・オーダーシステム導入
- ・水際線エリア紹介サイン設置(飲食できる場所・港湾緑地)



検証方法

- ・設置期間の利用状況調査
- ・利用者へのアンケート
- ・事業者へのアンケート

設置物

- ・イス・テーブル
- ・サイン製作予定

運用のイメージ

- ・イス・テーブルの設置は営業時間に合わせて事業者カモンワークによる出し入れを想定。今後協議。
- ・オーダーシステムはカモンワークで検討中。
オーダーで各店舗のメニュー注文ができて取り寄せられる。
- ・什器による怪我などに対応する保険はカモンワーク加入。
- ・水際線エリア紹介サインの設置は事業者との協議次第

運用の役割分担

- ・参加店舗の募集：地先事業者
- ・設置物の管理：地先事業者
- ・地先管理・運営：地先事業者
- ・企画・運営協力：KAM+HBP
- ・運用ルール調整：HBP

① 唐戸船溜りの地先利活用 d. 唐戸市場

目指す将来像のイメージ

ハード

市場らしさの装いを持ちつつ、市場から出てきた人々を唐戸船溜まり全体へ誘導できる仕掛けが作られる。

※別途、唐戸市場のあり方検討業務でビジョンづくりを並行。
場内に市民・観光客向けの魚介飲食店が並び寿司以外の食が楽しめる。

ソフト

市民の台所としての市場。
市場らしく競りを楽しめる。

エリアのコンセプト

唐戸文化市場

実現に向けた課題

- ・市場の出店ルールの改善
- ・屋上緑地の商用ルールの改善
- ・雨天や真夏・真冬の食事環境の充実

検証項目

- ・座れるパレットベンチ設置による行動変容
- ・場内の飲食ブース出店による市民利用の変化

実現に向けたステップ

※唐戸市場あり方検討業務にて進める。

① 唐戸船溜りの地先利活用 d. 唐戸市場

実施日程

10月

実施内容

- 唐戸市場周辺オープンスペース
 - ・ 浜焼きBBQイベントの開催
(唐戸市場の海鮮具材を用いた浜焼きや飲料提供)
 - ・ 飲食用のパレットベンチ設置
 - ・ 水際線エリア紹介サイン設置 (飲食できる場所・港湾緑地)



検証方法

- ・ 設置期間の利用状況調査
- ・ イベント参加者へのアンケート
- ・ 浜焼きBBQイベント参加者数

設置物

- ・ イス・テーブル・BBQコンロ
- ・ サイン製作予定

運用のイメージ

- 唐戸市場周辺オープンスペースの活用
 - ・ BBQの提供業者による炭火コンロ設置・片付の運用。
 - ・ KAMで予約管理と発注業務、集金業務を行う。
 - ・ 魚介類食材は唐戸市場業者と連携して調達する。
 - ・ 什器による怪我などに対応する保険をKAMで加入。
 - ・ 飲食用パレットベンチを常設。
(原則として地先事業者が管理運営し、公共性が高いなど例外的な場合はKAMで設置を検討するなど今後協議)

運用の役割分担

- ・ 参加店舗の募集：KAM
- ・ 設置物の管理：KAM
- ・ 地先管理・運営：KAM
- ・ イベント予約・発注・会計：KAM
- ・ 企画・運営協力：KAM+HBP
- ・ 運用ルール調整：HBP

③ 港湾緑地の利活用

目指す将来像のイメージ

ハード

市民がイベント開催など自由に参加できる。また、ふらっとやってきて日常を送ることができる下関市民のための港湾緑地公園。

ソフト

市民により日常的に使われる緑地

エリアマネジメント組織が中心になって、さまざまな市民グループが芝生などでイベントを行っている。A地区事業者が緑地に向けて開き、人々の居場所ができています。

エリアのコンセプト

市民と来訪者が関門時間を愉しむ広場

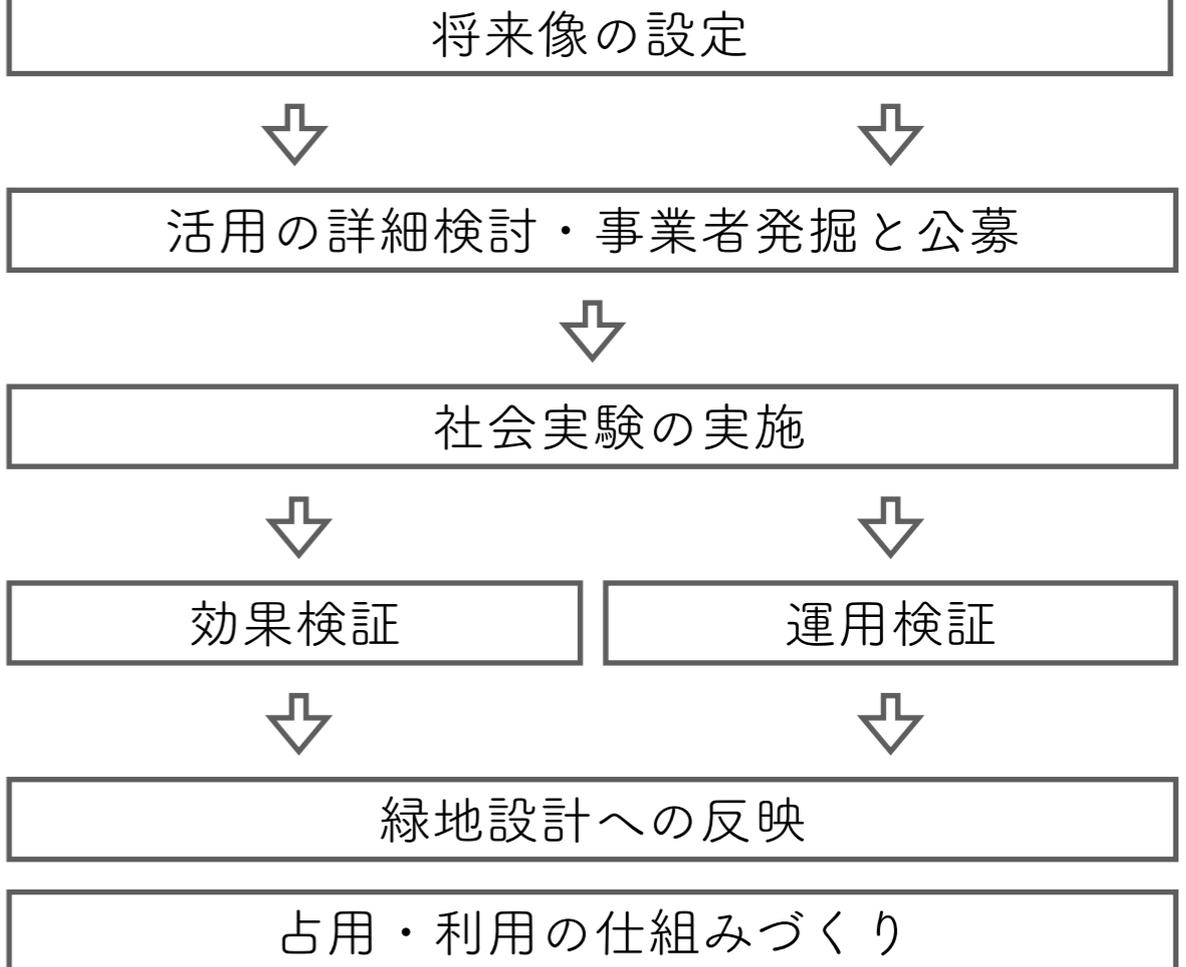
実現に向けた課題

- ・ビジョン共有（地元利用・交流機能の具体的なシーンを創出）
- ・活用主体の発掘
- ・クオリティを担保しつつ幅広い参画を得るための仕組みづくり
- ・活用視点での設計反映

検証項目

- ・A地区事業を想定した場合の緑地サイドでの受け方（配置・電源等設備など）
- ・みなと緑地PPPの活用可能性及び簡易店舗の事業性
- ・活用主体の発掘、条件整理

実現に向けたステップ



③ 港湾緑地の利活用

将来イメージ



③ 港湾緑地の利活用

実施日程

8月・9月・10月

実施内容

毎週末開催予定

- ・遊具を提供しプレイリーダーが遊びを誘発していくプレイパークの実施（KAM）
- ・キッチンカーによる飲食提供（市内事業者）
- ・市内事業者によるイベント開催（朝夕 ヨガ・朝食・音楽演奏・ナイトマーケット・オクトーバーフェスト等）

検証方法

- ・設置期間の利用状況調査
- ・利用者へのアンケート
- ・飲食事業者への売上高の調査

設置物

- ・イス・テーブル
- ・プレイパーク用倉庫 仮設足場
- ・レンタルキッチンカー

運用のイメージ

- ・イス・テーブルとティピの設置は常設。KAM
- ・什器による怪我などに対応する保険をKAMで加入。
- ・水際線エリア紹介サインの設置は事業者との協議次第

運用の役割分担

- ・参加店舗の募集：KAM
- ・設置物の管理：KAM
- ・地先管理・運営：地先事業者
- ・企画・運営協力：KAM+HBP
- ・運用ルール調整：HBP